

2-d 一般配置

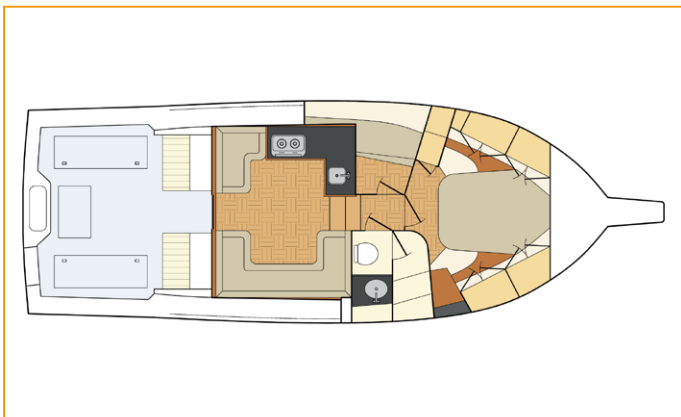
一般配置というのは船内レイアウトのことで、それを示した図を一般配置図といいます。英語の「ジェネラル・アレンジメント (general arrangement)」を邦訳したものであるため、その頭文字をとって「GA」という略称で呼ばれることも少なくありません。

ちなみに「一般配置」の「一般」は、その意味するところの分かりにくい言葉ですが、これはおそらく英語の「ジェネラル (general)」を単純に直訳しただけだと思われます。本来、この場合の「ジェネラル」は「広く一般の」ではなく、「概要、概略」という訳し方をすべきだったところですが……。

フネのカタログなどには、その船内の様子を示した図が付いていたりしますが、ああいっただのも一般配置図の一種ですし、小型のフィッシングボートなどでは、船内というよりもデッキやコクピットの配置を記したフネの平面図が掲載されることもあります。それもまた一般配置図です。

*

フネの一般配置からは、そのフネの船上におけるさまざまなスペースの割合や、配置、さらには実際に船上で人間が動き回る際の動線などを読み取ることができます。また、ハッチ類などを明示してあるものならば、物入れの開口サイズ、その配置と他の造作の関係などもよく分かります。



プレジャーボートカタログなどで最もよく見かけるタイプの一般配置図。この図はミドルクラスのコンバーチブルのもので、フライブリッジの一般配置図はありません。また、メインサロンと船首側ステートルームの段差も分かりませんが、同種のフネをよく知っている人ならば、そのあたりは十分に想像の範囲内にあります

これらは、そのフネを実際に使う上で使い勝手などを把握するのにとても便利なものですから、どのフネもできるだけそのカタログや仕様書には一般配置図を掲載するようにしているようですし、そういった図のないものでも、高所からフネを俯瞰撮影した写真を掲載するなどして、そのフネの一般配置が把握できるようにしていたりします。

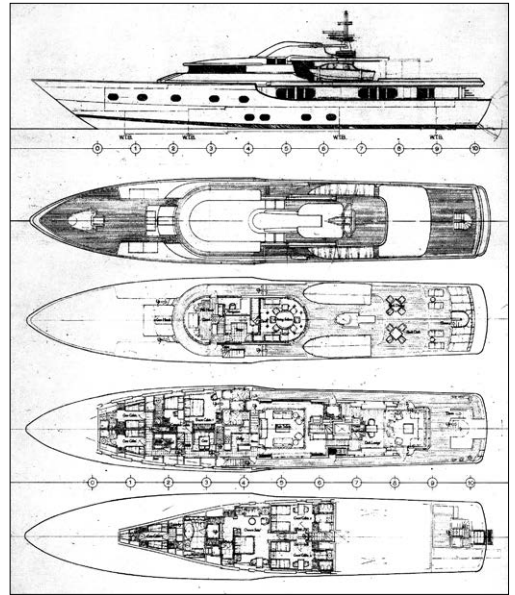
とはいっても、そういった図や写真が公表されていないフネもないわけではありませんし、およそ実体とはかけ離れた、まるで想像図のような一般配置図が掲載されているケースもあります。

*

最も多く見かける一般配置図は、キャビンを備えたフネのデッキ部分を取り払った状態で描いたものでしょう。

ただ、そういった図では、当然のことながらフライブリッジは描かれませんが、メインサロンの床下になってしまうような一部のステートルームも描けません。また、メインサロンと船首側のステートルームなど、異なるレベルにあるものの区別もしにくくなります。

そこで、ある程度の大きさのモデルでは、本船のように各レベルのデッキを



150フィートクラスのメガヨットの一般配置図。各デッキ別に、それぞれの配置が詳細に記されています。ワンオフのカスタムヨットですから、この種の図面の持つ意味は重要です

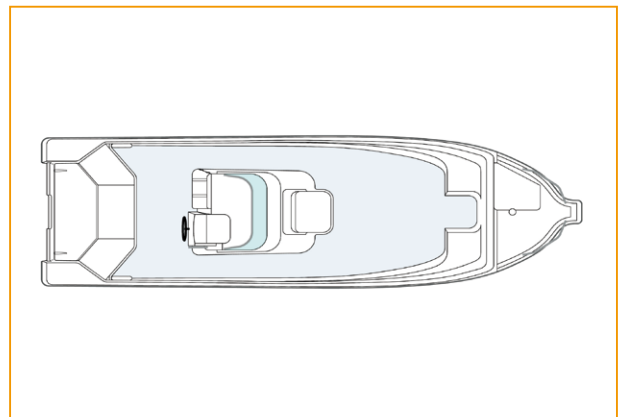
別々に描いた一般配置図が描かれることとなります。

*

そのフネの船内レイアウト、さらにはフネの基本コンセプトが明確な形で表れるのが一般配置です。

縦横比をきちんと修正して正確なものとし、縮尺を統一したさまざまなフネの一般配置図を並べてみると、それぞれのフネの性格が非常によく分かります。

定番的な一般配置やビルダーの個性を感じさせる一般配置など、そこで見出せるものはかなりあるはずで



図のような小型のモデルの場合、通常、コンソール内部の小さなスペースなどは描かれませんが、実際にこの種のフネを購入しようとする方にとっても、そういった部分を最優先で考えるということはないでしょう